

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	手話	教員氏名	南 玲子
学年	2年		
授業形態	演習	開講学期	後期
必修・選択	選択	単位数	1単位
テーマ	保育・幼児教育・福祉職を目指す学生たちが、卒業後、耳の聴こえない幼児・児童・保護者などに会った際の、コミュニケーションの手掛かりとなる手話について、その基礎を学ぶ		
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 名前・住所・趣味・仕事など、一通りの自己紹介ができる程度の手話表現を中心に学ぶ 2. 幼児保育などの現場に増えてきた手話の歌について、その取り組みと意味を考える 3. 耳栓体験などを通じて、耳の聴こえない方の実生活をおもんばかる 4. 聴こえないゲストティーチャーの体験談を聞き、実際の姿に触れる 5. 手話通訳制度など、聴こえない人を取り巻く、法律・環境について学ぶ 6. この授業は、手話による演習のため、基本的に音声は使わない 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育・幼児教育・福祉職を目指す学生たちが、卒業後、耳の聴こえない幼児・児童・保護者などに会った際、手話に対する苦手意識を持たず、心を開いてコミュニケーションが取れるようになること ・相手の立場に立って、必要なコミュニケーション手段を工夫できること ・手話通訳などを依頼しなければならなくなった場合、どこに問い合わせればいいのか、相談先の情報が身についていること 		
テキスト	講師が準備したテキストをコピーして使用(大泉書店『超カンタン!手話で話そう』本人著)		
参考書	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
成績評価方法	授業への取り組み姿勢50% レポート20% 実技・筆記試験30%		
授 業 概 要 と 課 題			
第1回	テーマ内容	【はじめに】手話の基本 あいさつ 簡単な意思表示方法を学ぶ 全体として音声を使わない授業になるため、その意味・意義も説明する	
	授業外指示	初回に学んだ手話のあいさつ、簡単な意思表示は、今後全編にわたって使用されるものになるので、次週までにきちんと覚えておく	
第2回	テーマ内容	【名前】自分の名前の表現を覚える また、クラスの一人一人違う名前から、単語による様々な表現を学び、他者の名前も表現できるようにする	
	授業外指示	学んだ「自分の名前の表現」を、次回までにしっかり覚えておく	
第3回	テーマ内容	【指文字】手話の五十音にあたる指文字を覚える 単語自体の表現がわからないときも、指文字を使って相手に意思伝達ができるようになる	
	授業外指示	次回からの授業で、これを使いながら進行することになる しっかりと覚えて次回から読み取りができるようにしておく	
第4回	テーマ内容	【住所】自分の住まいの都道府県、市町村の表現を学ぶ / 【手話の歌】手話の歌のあり方、表現方法の基礎	
	授業外指示	「自分の住まいの県(都)・市区町村」を、覚える 手話の歌は、ゲストティーチャーを迎えた時グループごとに披露することになるので、練習を積み重ねる	

第 5 回	テーマ 内容	【仕事・学校】将来の夢や、学校生活にかかわる手話表現を学ぶ
	授業外指示	「自分の仕事・学校の表現」ができるようまとめておく
第 6 回	テーマ 内容	【趣味】一人一人の好きなものを伝え合う 趣味の会話表現
	授業外指示	「自分の趣味」の表現を、覚えておく
第 7 回	テーマ 内容	【耳栓体験】耳栓をして、学校周辺を歩き、聴こえない状態を体験
	授業外指示	各自、次週までに、体験をレポートにまとめて提出
第 8 回	テーマ 内容	【家族】両親・兄弟姉妹など、家族構成の手話を学ぶ
	授業外指示	「自分の家族に関する手話表現」を覚えておく
第 9 回	テーマ 内容	【ゲストティーチャー準備】次週ろう者ゲストを迎えるにあたり、質問などの会話をレッスン 手話の歌の披露準備
	授業外指示	次週の「ゲストティーチャー」を迎えるまでに、グループごとに質問や手話の歌が、よりうまく伝わるよう練習しておく
第 10 回	テーマ 内容	【ろう者ゲストティーチャー】実際のろう者講師を招き、苦労話や、ろう者ならではの生活体験を聞く また、質問などの会話や手話の歌の披露により、交流を深める
	授業外指示	各自、次週までに、「ろう者ゲストを迎えて」の、出会いや感想について、レポートをまとめて提出
第 11 回	テーマ 内容	【数字】手話の数字を学ぶ 誕生日のほか、値段、時間などの表現も覚える
	授業外指示	自分の「誕生日」を、きちんと覚えておく
第 12 回	テーマ 内容	【まとめ】これまで学んだ手話表現のまとめのほか、手話・ろう者を取り巻く制度・行政などについての基礎知識を学習する
	授業外指示	卒業後、聴こえない人と出会った際の重要なデータを学ぶことになるので、しっかりと頭に入れておくとともに、将来の参考のためこの資料をきちんと保管する
第 13 回	テーマ 内容	【筆記テスト】授業内で、これまでの内容を確認する筆記テストを、行う
	授業外指示	自分の学習成果を把握し、今後の参考にする
第 14 回	テーマ 内容	【実技テスト】当初目標とした手話による自己紹介ができるようになったかを、実技テストで確認
	授業外指示	自分の学習成果を把握し、今後の参考にする
第 15 回	テーマ 内容	【交流会】これまで学んだ手話で、クラス全員による交流会 音声なしの手話で行われる
	授業外指示	卒業後、聴こえない子供たち、保護者に会った時、こうした手話の授業があったことを心にとめ、いざという時の道しるべとしてもらいたい